

令和8年度 大磯高等学校不祥事ゼロプログラム

大磯高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

このプログラムの実施責任者は、校長とし、副校長・教頭・事務長がこれを補佐する。

2 課題、目標及び行動計画

課題	目標	行動計画
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を高め、信用失墜行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員として、公務内外において、常に高い倫理観を持ち、自身の行動を律し、不祥事防止を徹底する。 ・定期的に研修を実施し、職員の法令順守意識の強化につなげる。
職場のハラスメントの防止	セクハラ、パワハラをはじめとする職場のハラスメントに対する理解を深め、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がハラスメント防止指針の趣旨を理解し、相互に注意を払い、良好な職場環境を維持する。 ・啓発点検資料による自己点検を含む研修を行い、職場のハラスメント防止に対する職員の意識向上を図る。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員相互のコミュニケーションを図りながら、気になる点があればそのままにせず、注意喚起を行う。 ・資料を活用してセルフチェックを行う。 ・研修を通して生徒の人権尊重の視点を確認し、倫理観を高め、わいせつ事案等の防止を図る。
体罰・不適切な指導の防止	教育者としての自覚を持ち、生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な発言指導を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解を第一に考えた生徒対応に努め、指導に問題があると感じた時には職員相互に注意喚起を行う。 ・啓発資料を活用した研修を実施し、生徒の人権に配慮した指導に配慮する意識を喚起する。
入学者選抜、成績処理等の適切な事務処理	入学者選抜に係るデータ管理及び成績処理や調査書作成等での事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ダブルチェックや作業手順遵守の重要性を確認し、徹底する。 ・適正な文書管理の重要性を確認し、情報管理を徹底することで、公正な入学者選抜を行う。 ・職場研修を行い、情報の対策重要度を意識した適切な情報管理などについて、職員の意識向上を図る。

個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	情報の管理方法を確 認し、個人情報の流失 を未然に防止する。	・ガイドラインに則り、個人情報の取り扱いに ついてルールの徹底を図る。 ・啓発資料を活用して点検を実施し、個人情報 保護に関する職員の意識向上を図る。
財務事務等の 適正執行	財務事務をルールに 従って厳正に行う。	・私費については私費会計事務処理の手引に従 い、適正な執行に努める。 ・ハンドブックを活用した研修を行う。

3 検証

区分	内容
第1回検証	2に規定する行動計画について、令和8年12月下旬までに第1回検証を行い、達成度が低い場合は、必要な補完措置や修正措置を講ずる。なお、達成度を上げるため、行動計画の再設定が必要な場合は、必要な修正を行う。
第2回検証	2に規定する行動計画について、令和9年3月に最終検証を行う。その結果、新たな課題等の設定が必要な場合は、翌年度のゼロプログラム策定に反映させる。

4 実施結果

第2回検証を踏まえ、行政課の求めに応じて公開する。

5 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、不祥事防止会議が行う。